

酒類・食品 & News 解説

週刊

令和7年1月3日(金曜日) 第3428号

(昭和42年7月10日第3種郵便物認可)

毎週金曜日発行 編集発行人 石母田 健

購読料 6ヵ月 15,730円(税込み)

振替番号 東京4-71739

発行所 株式会社日刊経済通信社

本社/東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 日本橋南ビル9階

☎03(5847)6611(代) FAX 03(5847)6600

名古屋支局☎052(253)6924 大阪支局☎06(6353)1791

http://www.nikkankeizai.co.jp/

25年の酒類食品産業

食を楽しむ文化を醸成



観光客でにぎわう師走の浅草・仲見世商店街

能登半島地震や能登半島豪雨の復旧・復興は進まず、ロシア・ウクライナ問題は長期化、アメリカでは大統領の就任を控え、先行きが全く不透明なまま、新年を迎えた。原料相場は落ち着きを見せる作物もみられる一方で、コーヒード、オリーブ、ごま、カカオ豆は高騰。メーカーの利益を圧迫する要因になっているものもあり、気候変動に加え、世界の需給国際情勢から目が離せない一年となりそうだ。

これまで前年割れや前月割れを繰り返してきた居酒屋・パブの客数は、過去最高水準で推移する

業務用再活性化が急がれるビール

ビール類

4月1日から4社の値上げが決まっている2025年のビール類市場。焦点は仮需とその反動を経た後いつまでその影響が続くかにある。某メーカーでは、4月以降、値上げの影響はビール類全体で6%規模に及ぶと試算。これが減税値下げの恩恵を受けて3年連続で伸長したビールにどう影響するのか、逆に増税が

逆風となり4年連続で縮小したエコノミーカーテゴリーの減少に拍車をかけるのか。さらには、コロナ禍からの回復に陰りが見えている業務用需要にどう作用するのか。その影響は未知数だ。だが、こういった時こそ、地道な消費喚起策を積み重ねていくことが求められ、中でもコロナ前の水準にはまだ遠い業務用市場でのビール消費活性化が急がれる。

本紙が推定した24年の国産大手4社ビール類販売は、ビールが前年比105%強の約1億8200万箱(大びん換算)、旧新ジャンルと発泡酒の計であるエコノミーカーテゴリーは89%強の約1億4500万箱、合計では97.5%程度の約3億2700万箱と2年連続のマイナスとなった。カテゴリー構成比は、ビールが55.7%、エコノミーが44.3%だった。ビールは

主な内容

◎次号1月10日付は休刊とさせていただきます。

2025年酒類食品業界1〜9号
(ビール、焼酎、洋酒、低アルコール、リブ、ごま、カカオ豆は高騰。メーカーの利益を圧迫する要因になっているものもあり、気候変動に加え、世界の需給国際情勢から目が離せない一年となりそうだ。)

| | | |
|----------------------------|-------------|-----|
| 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 | カゴメ山口社長 | 11面 |
| 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 | ルイボ本社長 | 12面 |
| 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 | 日本アパ服部社長 | 13面 |
| 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 | 三井物産流産社長 | 14面 |
| 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 | 通商三井物産流産社長 | 15面 |
| 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 | 卸売業三井物産流産社長 | 16面 |
| 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 | 卸売業三井物産流産社長 | 17面 |
| 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 | 卸売業三井物産流産社長 | 18面 |
| 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 | 卸売業三井物産流産社長 | 19面 |
| 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 直新 | 卸売業三井物産流産社長 | 20面 |

各社の主要銘柄の多くが堅調に推移し、新製品や業務用展開で加速した23年の新製品が上乗せしたが、夏以降失速気味の業務用需要が下押し要因となったことも事実だ。エコノミーは、増税で価格差が開いたRTDへの消費流出が減少の最大要因となった。それでも、エコノミー構成比が44%を超えているのは、依然として高止まりしている生活防衛を反映した結果に他ならない。上位銘柄の半数以上がエコノミー商品であることも、それを裏付けている。

こうした消費構造に、今回のビール類としての値上げがどう影響するのか。一般庶民の懐事情が改善されないまま、利上げや複数の増税率が浮上している経済環境は、お世辞にも良いとは言えない。最も危惧されるのは、そうした中で業務用需要の停滞が続き、新製品効果も一巡したビールの伸長が止まり、エコノミーの減少も加速、ビール類としても3年連続のマイナス、しかもその幅が拡大するというシナリオだ。

(2面に続く)



●A4判速報形式
●有力企業広告も掲載
●購読料 6ヵ月45,100円(税込み)

業界唯一の酒類食品総合日刊紙。多忙の時はヘッドラインをお読み下さい。本文も簡潔、明瞭です。

日刊経済通信社の刊行物



●B5判雑誌形式。毎月末発行
●有力企業広告も掲載
●購読料 6ヵ月24,750円(税込み)

